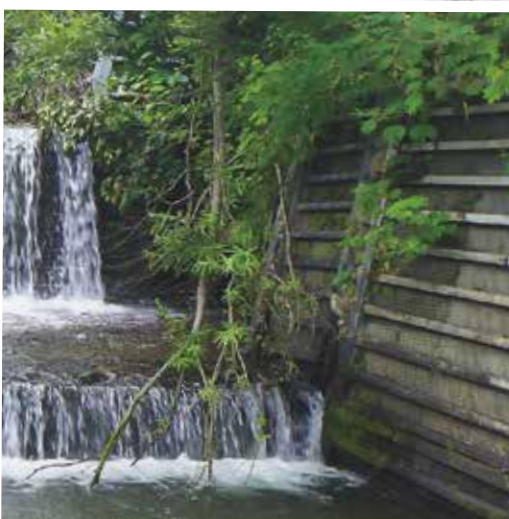
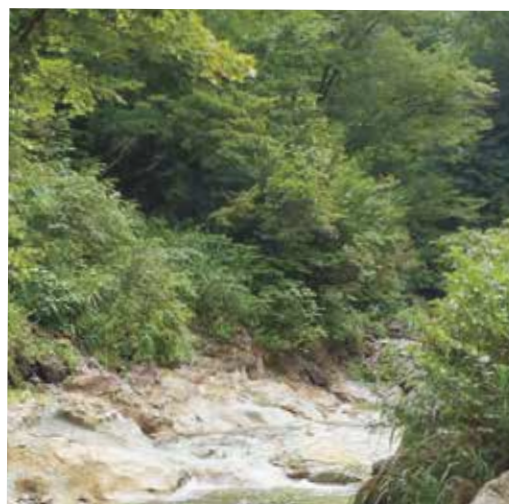




株式会社 森林テクニクス
Japan Forest Technics Co.



鳳至地域（輪島市）
令和7年7月

令和6年能登半島地震
および奥能登豪雨
による土砂災害からの
復旧事業

興徳寺地域（輪島市）
令和6年1月

災害から くらしを守る

治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る重要な国土保全政策の一つです。弊社では、激甚化・頻発化する災害による森林の荒廃を予防・復旧するため、現場状況に応じた計画・設計を提案して安全な国土づくり、豊かな森林づくりに貢献します。

治山

流域別調査

全体計画調査

各種調査・測量・設計

- 山腹崩壊 ● 荒廃溪流

- 地すべり ● 海岸防災林

森林造成・森林整備調査

- 荒廃森林 ● 保安林等

施設点検・補修設計



自然景観への配慮

多孔質天然石を用いた
治山ダム の景観予想図

各種施設の機能面だけでなく、森林の景観にも配慮した施工計画を提案しています。



木材の積極的利用

木材を多用した山腹工

地元産木材の利用など、環境への負荷が少なく経済的で景観にも配慮した木製構造物を、積極的に採用することを心掛けています。



林野庁
森林技術総合研修所
林業機械化センター
における弊社社員向け
研修（令和5年17年）

持続可能な 資源循環型社会へ

わが国の豊富な森林資源の循環利用を推進していくためには、林道などの林内路網の整備が不可欠です。木材生産の場では、安全性・生産性が高く、低コストな作業システムとして高性能林業機械の活用が進んでいます。弊社では、路網と高性能林業機械等を組み合わせた効率的な作業システムを踏まえた路網の計画・設計を提案します。

林道

地域路網計画

林道全体計画

各種調査・測量・設計

- 新規林道の開設

- 既設林道の補修・改良

- 橋梁 ● トンネル

施設点検・補修設計



森林関連各種

コンサルティング

森林調査・植生調査

森林整備計画

用地測量・測定

各種技術指導

- 現場技術

- 森林土木技術一般

長年の実績を生かし、森林技術コンサルタントとして、国有林・民有林を問わず森林関連の様々な業務を行っています。



（一社）森林技術コンサルタンツ協議会・
都道府県森林土木コンサルタント連絡
協議会 合同開催の現地研修会（ICT
測量技術の実演）への講師派遣・機器の
貸し出し（令和5年11月）

1 荒廃溪流の復旧事例

徳島県 那賀郡那賀町 阿津江

平成16年の台風10号がもたらした集中豪雨により大規模な崩壊が発生し、下流域に甚大な被害を及ぼしました。崩壊の源頭部付近で地すべりを確認したので、アンカー工やのり砕工など規模の大きな計画となりました。中腹から下流域にかけては谷止工や床固工、流路工、緑化工等を整備して、不安定土砂の移動の抑止や固定、降雨による表面侵食の防止を図りました。民有林直轄治山事業による復旧対策は令和3年度で完了しています。

▲ 被災時の状況
▲ 完了直後
▼ 近年の状況(R5.9)



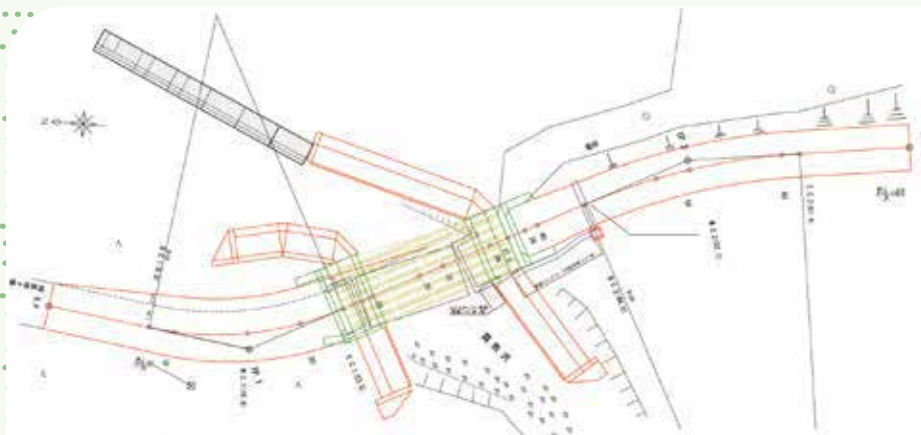
3 被災林道(橋梁)の復旧事例

秋田県 北秋田郡上小阿仁村 孫沢林道

平成30年8月の豪雨による増水で、孫沢林道の橋梁では橋台の基礎部が洗掘されて通行不能となりました。被災状況調査の結果、橋梁の架け替えが必要と判断され下部工及び上部工の設計をおこないました。橋台の保護のため、護岸工も計画しました。

※ 橋梁形式：プレテンション方式PC単純スラブ桁橋

▲ 施工後の状況
▼ 被災時の状況



2 新設林道の開設事例

静岡県 伊豆市 滑沢支線林道

令和2年度に国有林の森林施業で用いる林業専用道(延長1.0km)の測量・設計を実施しました。横断勾配が急な箇所の通過が避けられなかったため、いくつかのルートと比較検討して耐久性と経済性に優れた計画としました。切り取った土砂(残土)については起点近くに集めて整地する設計とし、完成時には土場として活用することができます。

◀ 施工前の現場
▼ 施工中の状況(R4.8)



4 崩壊地の復旧事例

新潟県 村上市小岩内

令和4年8月3日から4日にかけて新潟県から福島県を襲った記録的な豪雨により、新潟県内では村上市及び関川村を中心に多数の山地災害が発生しました。一級河川荒川の右岸側山腹斜面に発生した面積0.55haの崩壊地は、表土が流亡して風化・侵食を受けやすい基岩が露頭していました。斜面の直下には荒川頭首工や取水施設などの重要な保全対象が所在するため、崩壊の拡大を防止するとともに植生の生育基盤を再生できるのり砕工を計画しました。



▲ 施工後の状況
▼ 被災時の状況

5 橋梁点検の事例

北海道 勇払郡占冠村

林道施設である橋梁の点検・診断及び健全性の評価等は林野庁インフラ長寿命化計画（行動計画）に係る個別施設計画に基づいて実施されています。対象となる橋梁に近接して目視や打音等の非破壊検査をおこなうため、ここでは橋梁点検車を用いて調査し、その情報を的確に記録して効果的かつ効率的な維持管理・更新等につなげています。



6 ICT を活用した事例

山梨県 南アルプス市芦安芦倉

大規模な崩壊地の土砂移動を広範囲に把握するため、地質調査と併せて UAV 搭載型レーザスキャナを用いた測量を複数回実施して、斜面変動を明らかにしようとしています。

※ ICT = Information and Communication Technology



令和4年度に森林土木技術者に向けて実施したICT研修の動画を公開しています↓↓↓



技 術 の 修 得

社内研修・勉強会 など

全社対象の業務研修は、社内外の専門家を講師とし、現地踏査を含む包括的な学びの機会を提供します。

支店の業務研修は、過去業務の現場を巡り、担当職員を講師としてより実践的な知識を習得します。

オンライン技術研修は主に社内の専門家を講師とし、自由参加型で誰でも気軽に技術レベルに合わせた知識を習得できます。



九州支店の業務研修の様子 (R7.6.5～6)

「森林作業道の路網配置の検討と木材搬出計画」研修（群馬県沼田市）の様子。班に分かれ座学による路網計画立案、現地踏査、最終路網計画発表。（R7.4.16～18）



新人研修 R7.4.22～24



新入社員向けの研修を、弊社の演習林で毎年4月に行っています。外業実習では、測量機器や鉋などの道具、内業実習ではCADなどのソフトウェアの使い方を学びます。



林業機械化センター研修

R7.8.8

林業機械化センターでは、実際に森林作業道が敷設された林分で、作業道の作設方法や、高性能林業機械を用いた伐倒・集材について実地で学びます。



研究発表

令和7年の研究発表会において下記のテーマで発表を行いました。

第65回 治山研究発表会（R7.9.10）
山地災害危険地区調査要領の令和5年度改正による新規加点項目が崩壊土砂流出危険地区の危険度に与える影響
第60回 林道研究発表会（R7.10.3）
複合三次元測量の実用性について



各種資格者

技術士 森林部門 (36), 環境部門 (1) 総合技術監理部門 (2)	39 名	2 級土木施工管理技士 1 級造園施工管理技士 林業技士	8 名 6 名 86 名	RCCM 森林土木 森林情報士 森林航測 (3), 森林 GIS (6) 森林リモートセンシング (1)	2 名 10 名	補償業務管理士 土地調査 (3), 物件 (2) CALS/EC インストラクター システムアドミニストレーター	5 名 2 名 3 名
技術士補 測量士 測量士補 1 級土木施工管理技士	35 名 54 名 21 名 26 名	林業経営 (16), 林業機械 (1) 森林土木 (49), 森林評価 (10) 森林環境 (8), 森林総合監理 (1) 作業道作設 (1)		地質調査技士 地すべり防止工事士 コンクリート技士	8 名 11 名 1 名	森林インストラクター 基本情報技術者 樹木医	3 名 1 名 1 名

会 社 概 要

社 名	株式会社 森林テクニクス	設 立	平成元年7月1日
資 本 金	3千万円	社 員 数	総 数 128 名
営業収入	25 億 8 千万円（令和 6 年度期）	技術系 112 名, 事務系 16 名	（令和 7 年 4 月 1 日現在）

主な受注元

林野庁, 全森林管理局（北海道・東北・関東・中部・近畿中国・四国・九州）, 北海道開発局, 東京都, 大阪府, 新潟県, 千葉県, 石川県, 静岡県, 愛知県, 岐阜県, 奈良県, 和歌山県, 兵庫県, 滋賀県, 福岡県, 静岡県静岡市, 静岡県掛川市, 愛知県新城市, 福岡県朝倉市, 東京都小笠原村 他に民間企業・森林組合など

取引銀行

みずほ銀行, 北海道銀行, 静岡銀行, 八十二銀行, 三菱東京 UFJ 銀行, 四国銀行, りそな銀行

加入団体

日本林業協会, 日本技術士会, 森林部門技術士会, 日本林業技士会, 林道安全協会, 森林共生フォーラム, 東京都測量設計業協会, 森林技術コンサルタンツ協議会

営 業 登 録

	登録番号	登録年月日
測量業	第 (8) 19115 号	令和 7 年 6 月 19 日
建設コンサルタント（森林土木部門）	建 03 第 4798 号	令和 3 年 12 月 26 日
補償コンサルタント（土地調査部門）	補 07 第 3761 号	令和 7 年 6 月 30 日
補償コンサルタント（物件部門）	補 07 第 3761 号	令和 7 年 6 月 30 日

業 務 内 容

- 森林土木及び土木建築に係る業務のコンサルタント
- 森林の保全、開発及び整備に係る業務のコンサルタント
- 森林の管理、経営、評価、測量に係る業務
- 海外における森林の管理、経営並びに森林土木に係る業務のコンサルタント

沿 革

平成元年	7 月	株式会社森林テクニクスを資本金 600 万円で設立 札幌支店を開設
平成 2 年	11 月	資本金 1,350 万円に増資
平成 3 年	7 月	青森支店を開設
平成 5 年	7 月	名古屋支店を開設
平成 6 年	7 月	大阪支店を開設
	10 月	前橋支店を開設
	12 月	資本金 2,000 万円に増資
平成 7 年	7 月	熊本支店を開設
平成 8 年	7 月	秋田支店を開設
平成 12 年	4 月	静岡支店を開設
平成 14 年	1 月	長野支店、四国支店を開設
	12 月	資本金 3,000 万円に増資
平成 31 年	4 月	東北支店開設（青森, 秋田支店を統合） 熊本支店を九州支店に改名



◆ えるばし認定取得企業
◆ SDGsを支援しています



東北支店

〒010-1419 秋田県秋田市御所野堤台 2-2-38
Tel. 018-838-1178
Fax 018-838-1179



札幌支店

〒060-0031 北海道札幌市中央区北一条東
1-4-1 サン経成ビル
Tel. 011-210-0717 Fax 011-210-7922

北見営業所

〒090-0834 北見市とん田西町 378 あいおいビル
Tel. 0157-24-5723 Fax 0157-57-4022



前橋支店

〒371-0026 群馬県前橋市大手町 1-5-11
大手町ビル
Tel. 027-220-1360 Fax 027-220-1361

新潟営業所

〒951-8068 新潟県新潟市中央区
上大川前通3-125 藤田ビル
Tel. 025-225-1461 Fax 025-225-1461



長野支店

〒381-0026 長野県長野市松岡 1-16-34
Tel. 026-214-9271
Fax 026-214-9272



本 社

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル
Tel. 03-5840-8814
Fax 03-6807-8557

千葉営業所

〒275-0012 千葉県習志野市本大久保4-8-41
Tel. 090-2479-1540

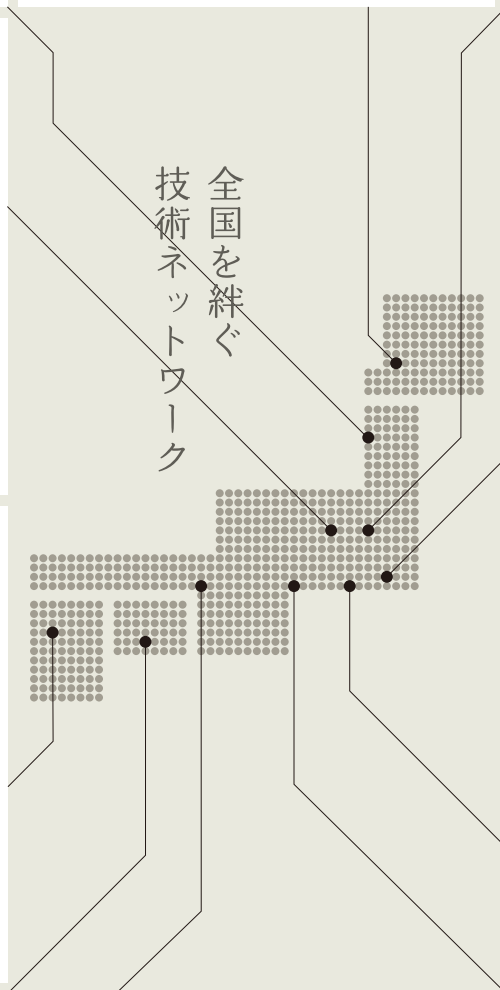


九州支店

〒860-0082 熊本県熊本市西区池田 2-1-58
Tel. 096-374-9222
Fax 096-374-6622

福岡営業所

〒819-0164 福岡県福岡市西区今宿町 539-9
Tel. 092-806-8083



静岡支店

〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田 869
池田ビル
Tel. 054-297-5030
Fax 054-297-5070



四国支店

〒780-8065 高知県高知市朝倉戊 531-1
Tel. 088-821-7380
Fax 088-821-7381



大阪支店

〒577-0013 大阪府東大阪市長田中 2-2-30
長田エミナンスビル
Tel. 06-6136-8617 Fax 06-6136-8618

奈良営業所

〒631-0054 奈良県奈良市石木町 119-2
Tel. 0742-51-4100 Fax 0742-51-4100



名古屋支店

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 2-11-30
セントラルビル
Tel. 052-218-5351 Fax 052-218-5352

岐阜営業所

〒501-8211 岐阜県岐阜市日野東 5-2-38
Tel. 058-242-9100 Fax 058-242-9101

